

**令和 2 年度主な実施内容及び今後の取組予定  
馬淵川大規模水害に備えた減災対策協議会**

# 馬淵川大規模水害に備えた減災対策協議会 八戸市 令和2年度主な実施内容及び今後の取組予定

## 【令和2年度の主な実施内容】

### ○ まるごとまちごとハザードマップ標識の設置

- ・ 八戸市洪水ハザードマップの更なる普及浸透、及び住民等の水害に対する危機意識の醸成を図ることを目的として、「まるごとまちごとハザードマップ標識」をJR八戸駅東口やJR長苗代駅、イオン八戸田向店など市内6施設に設置した。
- ・ 「まるごとまちごとハザードマップ標識」には、大雨による設置箇所周辺の想定浸水深や指定避難所等の情報を取得できる二次元コードを掲載した。

【設置状況】



J R 八戸駅東口



J R 長苗代駅



イオン八戸田向店

### ○ 要配慮者利用施設に対する洪水予報等伝達訓練の実施

- ・ 災害時に確実に情報伝達を行うことを目標に、洪水浸水想定区域内にある要配慮者利用施設(235施設)を対象にメール、FAXの配信訓練を実施。

## 【令和3年度の主な取組み予定】

### ○ 八戸市洪水ハザードマップの周知

- ・ 令和3年度は、住民や観光客の自主的避難の促進に加えて、より一層水害に対する危機意識の醸成を図るため、「まるごとまちごとハザードマップ標識」事業に関して、新聞・TVで報道してもらうための取り組みなどを行う。

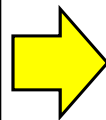
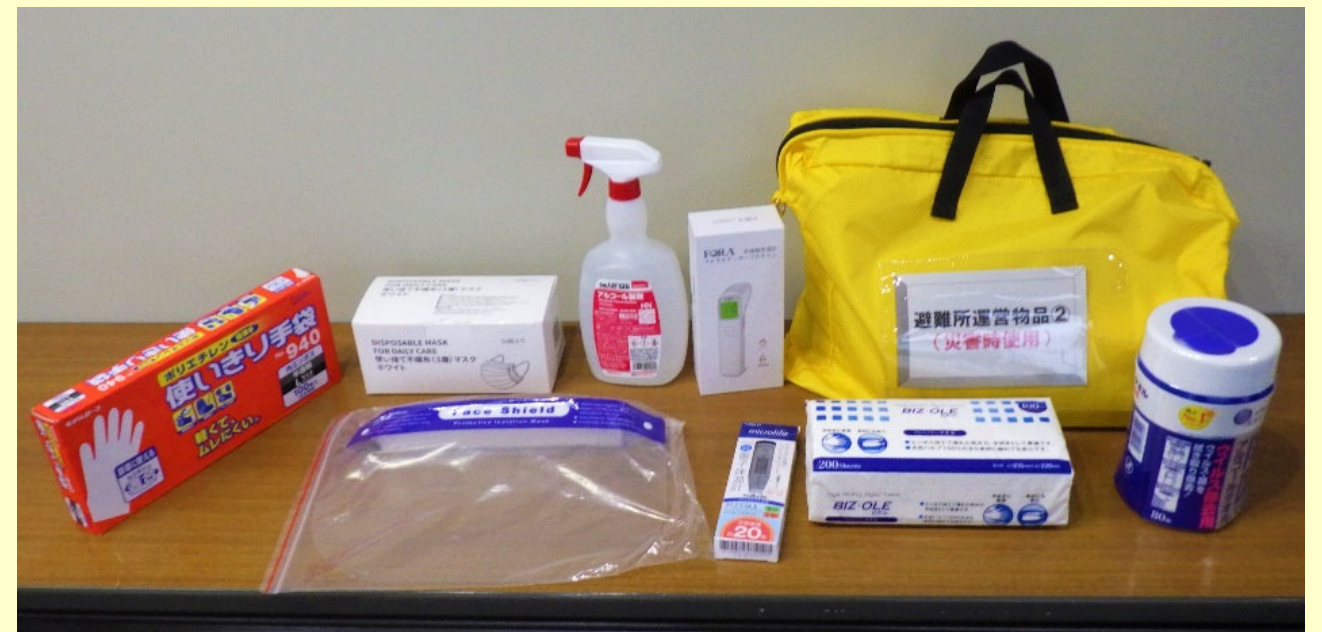
### ○ 要配慮者利用施設への避難確保計画作成支援

- ・ 地域防災計画に記載されている要配慮者利用施設に対し、必要に応じて講習会を開催する等随時作成支援を行う。

### ○ 避難所運営における感染症対策の推進

- ・ 新型コロナウイルス感染症対策として、避難所に配備する備蓄の充実を図るほか、関係部署と協議した上で避難所運営マニュアルの改訂を行う。

【避難所運営物品(感染症対策)】





# 三戸町 令和2年度主な実施内容及び今後の取組予定

## 【令和2年度の主な実施内容】

○防災行政無線設備更新のための設計業務を実施

・設備の現状

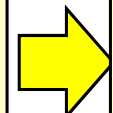
昭和62年度運用開始。平成21年度に一部設備をデジタル化し、現在は、併用型設備として運用。

・整備概要

更新は、デジタル同報系無線QPSKナロー方式の設備へ更新。併せて移動系設備も更新予定。



既設設備



## 【令和3年度の主な取組み予定】

○防災行政無線設備更新工事を実施

・工事概要

親局設備 1局・遠隔制御装置 1局

中継局設備 1局・再送信子局設備 1局

屋外拡声子局設備 71局

戸別受信機設備 250台

併せて、移動系設備も更新

・工事期間

令和3年度から令和4年度で施工

○総合防災訓練を実施予定

防災関係機関及び民間協力団体ならびに地域住民参加連携のもと、各種訓練を実施することにより、迅速かつ的確な災害応急対策を確立するとともに、地域住民の防災意識の向上と防災知識の普及促進を図ることを目的に実施するもの

実施予定日：令和3年10月

### 【主な訓練内容】

災害対策対応訓練

住民避難誘導訓練

救急救護、避難所運営訓練

炊き出し訓練

住民による初期対応訓練 等



前回訓練状況

○感染症対策に対応した避難所運営訓練の実施

令和2年7月に策定した「三戸町新型コロナウイルス感染症避難所運営マニュアル」に基づいた訓練を実施。

実施日：令和2年10月10日（土）

場所：アップルドーム（指定避難所）

参加者：町職員等 約100名



# 南部町 令和2年度主な実施内容及び今後の取組予定

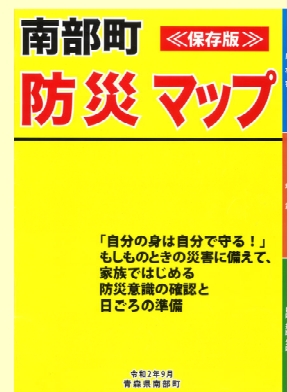
## 【令和2年度の主な実施内容】

### ○南部町避難所開設・運営訓練実施

実施日：令和2年7月21日(火)  
 参加者：青森県、自衛隊、消防署員、自主防災組織、  
 八戸圏域水道企業団ほか  
 参加者総数 60名

#### 訓練内容

新型コロナウイルス感染症に備えた  
 避難所開所までの手順確認  
 避難所内の設営（感染症対策のレイアウト）  
 発熱者への対応 ほか



### ○災害時の際の備蓄品整備

・備蓄用アルファ米購入 900食

### ○町防災マップの更新

・想定最大規模の浸水想定区域等を反映したハザードマップの更新（洪水ハザードマップの修正）

### ○自主防災組織の支援

・自主防災会へ新型コロナウイルス感染症対策の備蓄品  
 配布（マスク・感染防護服・消毒液等） 69箇所

### ○水防（消防）団員の募集

町広報誌及び町ホームページへ水防（消防）団員募集  
 記事掲載

## 【令和3年度の主な取組み予定】

### ○防災訓練等の各種訓練の実施

新庁舎での町防災訓練  
 令和3年10月17日（日）実施予定

### ○災害時に必要となる物資の備蓄

・土のう袋、備蓄用食料品等

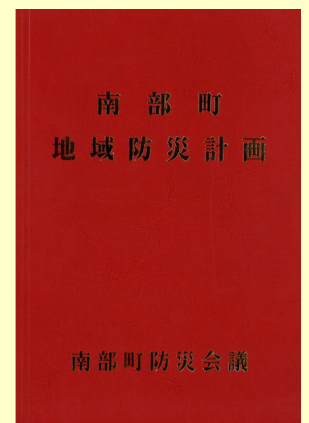
### ○町地域防災計画の更新

避難情報に関するガイドラインを  
 を反映した避難勧告等判断基準の  
 更新（地域防災計画の修正）

### ○自主防災組織の支援及び育成

### ○水防（消防）団員の募集

・町広報誌及び町ホームページ等での呼びかけを行う



年度	人数(人)	前年度からの増減
平成31年度	679	+2
令和2年度	686	+7
令和3年度	668	-18

※各年度4月1日現在の水防団員数



# 五戸町 令和2年度主な実施内容及び今後の取組予定

## 【令和2年度の主な実施内容】

### ○「ごのへ防災マップ」の作成

県が公表した浅水川と五戸川が氾濫した場合に想定される最大規模の浸水想定区域や土砂災害警戒区域等の情報を示した総合的な防災マップを作成し、町内全戸へ配布。



### ○ライフジャケットの配備

近年大雨による災害が全国的に発生しており、人命を脅かすものとなっている。その際、河川氾濫が危惧される場所での巡視活動を安全に行うために消防団へライフジャケットを配備し、水防体制の強化を図った。



水防活動のためのライフジャケット

## 【令和3年度の主な取組み予定】

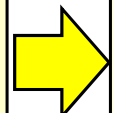
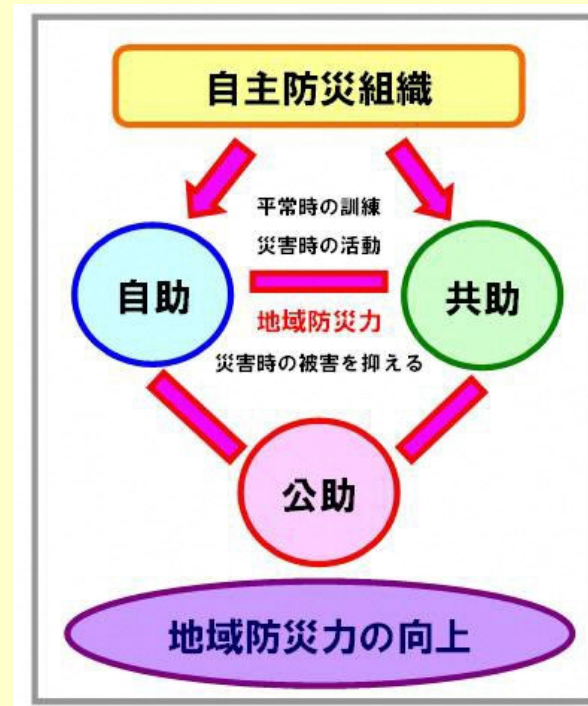
○町広報誌及び町HPへ水防団員（消防団員）募集の記事等を掲載予定

### ○自主防災組織の立ち上げ・育成事業

地域単位での自主防災組織を結成できるよう、講演会及び図上訓練体験等を実施予定

○自主防災組織や自治会等を対象として「ごのへ防災マップ」を活用したマイ・タイムラインの有効性や作成に関する研修会を行い、住民の防災意識の向上を図る。

○要配慮者利用施設の避難確保計画作成支援  
要配慮者利用施設の避難体制の強化を図るため、防災体制や訓練の実施に関する事項を定めた避難確保計画作成を支援





## 田子町 令和2年度主な実施内容及び今後の取組予定

### 【令和2年度の主な実施内容】

#### ○自主防災体験研修会（共催 青森県）

自治会及び自主防災会を対象に、防災に係る基礎知識の習得、防災活動の参考となる事項の確認等を目的とし、講師による講演・災害図上訓練D I Gを実施。



#### ○田子町防災マップの作成

地域の浸水想定区域や土砂災害警戒区域と地震ハザードマップ、防災対策等の情報をまとめ、冊子版とした「田子町防災マップ」を作成。地域での日ごろからの備えとしての参考に活用。

### 【令和3年度の主な取組み予定】

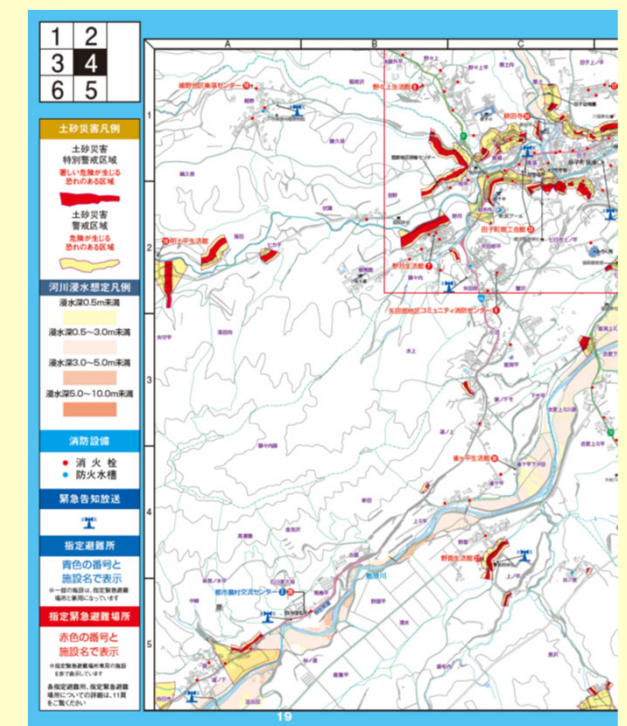
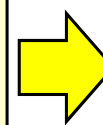
#### ○田子町総合防災訓練の開催

田子町地域防災計画に基づき、災害発生時における行政及び防災関係機関並びに地域住民の連携による迅速、的確な災害対策を確立することを目的に実施。

実施予定日：令和3年10月16日（土）

#### ○防災マップを活用し防災意識の向上

昨年作成した浸水想定区域（想定最大規模）等を反映した「田子町防災マップ」を活用し、災害発生前及び発生時の行動を確認し、防災意識・知識の向上を図る。



# 馬淵川大規模水害に備えた減災対策協議会 新郷村 令和2年度主な実施内容及び今後の取組予定

## 【令和2年度の主な実施内容】

○水防団(消防団)への加入呼びかけ。

年度	団員数	前年比
平成30年度	194	±0
令和元年度	187	△7
令和2年度	183	△4

○防災行政無線のデジタル化

屋外拡声子局21箇所の整備を行った。

○防災マップの作成

最新の浸水想定区域(最大規模)等を反映した洪水ハザードマップと、土砂災害危険箇所等を示した「新郷村防災マップ」を作成



## 【令和3年度の主な取組み予定】

○水防団(消防団)の募集

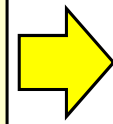
団員の高齢化や被用者率の増加等により、団員の確保が困難となってきているため、村広報紙及びHP等を活用し、団員の確保に努める。

○防災計画等の見直し・作成

避難勧告等判断・伝達マニュアル等の見直し。  
地域防災計画の更新・見直し。

○総合防災訓練の実施

地域住民、水防団員、防災関係機関等が合同で訓練を実施し、有事に備える。





# 青森県河川砂防課 令和2年度主な実施内容及び今後の取組予定

## 【令和2年度の主な実施内容】

### ○馬淵川河川改修事業の実施【継続】

- ・三戸町において駅前地区で用地買収、支川熊原川で築堤工事を実施し河川改修事業を継続実施

猿辺川（右岸築堤完成状況）

熊原川（黄金橋下流築堤完成）



### ○河道内の堆積土砂対策を実施【継続】

- ・国土強靱化3カ年緊急対策事業・緊急自然災害防止対策事業・緊急浚渫推進事業(R2新設)による河道掘削を実施
- ・令和2年度は、馬淵川・浅水川・土橋川を対象に実施

### ○重要水防箇所の合同巡視【継続】

- ・水防団、水防管理団体（市町村）及び河川管理者（県）等による河川の合同巡視を継続実施
- ・令和2年度は、熊原川（三戸町）を対象に書面開催

### ○ホットラインの運用【継続】

- ・河川管理者(県)から市町村長へ直接、河川水位の状況等を的確かつ確実に提供する体制を構築（H28.12月構築、H29～運用）
- ・令和2年7月の豪雨では、熊原川(三戸)において避難判断水位を超過したため、三戸町長へホットラインを実施

## 【令和3年度の主な取組み予定】

### ○馬淵川河川改修事業の実施【継続】

- ・三戸町において駅前地区及び支川熊原川で用地買収を実施し河川改修事業を継続実施

### ○河道内の堆積土砂対策を実施【継続】

- ・国土強靱化5か年加速化対策事業、緊急自然災害防止対策事業による河道掘削を実施
- ・令和3年度は、馬淵川・浅水川を対象に実施予定



着工前



完成

馬淵川 河道掘削実施状況

### ○重要水防箇所の合同巡視【継続】

- ・水防団、水防管理団体（市町村）及び河川管理者（県）等による河川の合同巡視を継続実施
- ・令和3年度は、新郷村において実施予定

### ○緊急排水計画の策定【継続】

- ・馬淵川中流部において想定最大規模降雨及び計画規模降雨による大規模氾濫を想定した緊急排水計画を策定予定

緊急排水状況のイメージ





# 馬淵川大規模水害に備えた減災対策協議会

## 青森県防災危機管理課 令和2年度主な実施内容及び今後の取組予定

### 【令和2年度の主な実施内容】

#### ○防災教育や防災知識の普及

- ・人口減少に対応できる地域防災体制を構築するため、次代を担う子どもたちを対象とした防災教育活動支援ツールの検討及び試行を実施し、その結果を踏まえた上で、ツールを制作

- ・防災全般に関する出前講座を計4回開催（約100人聴講）



- ・自主防災組織未設立町会の役員等を対象とした研修会を計7回開催（約250人受講）

実施内容：自主防災組織の役割と活動に関する講演、災害図上訓練DIG

- ・防災活動をけん引できる指導者的人財を育成し、課題や取組を共有してもらうため、地域防災活動ネットワーク研修会を開催（3地区×2回）

#### ○市町村が実施する訓練の支援等

- ・10月20日に外ヶ浜町、11月7日に佐井村、2月26日に鱒ヶ沢町で河川の氾濫や土砂災害を想定した災害対策本部図上訓練を実施

### 【令和3年度の主な取組み予定】

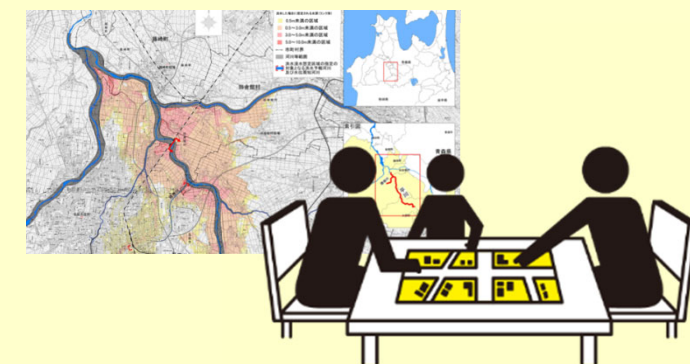
#### ○防災教育や防災知識の普及

- ・人口減少社会に対応できる地域防災体制を構築するため、教育関係者やPTA等の地域住民へ向け、防災教育の重要性等を普及啓発するとともに、昨年度制作した防災教育活動支援ツールの活用方法等を周知

- ・昨年度に引き続き、出前講座を開催

- ・浸水想定区域内の自主防災組織未設立町会等を対象に、設立促進及び活動の活発化を重点的に働きかけるための研修会を開催

開催予定市町村：  
弘前市、五所川原市 等



- ・昨年度に引き続き、地域防災活動ネットワーク研修会を開催

- ・青森県総合防災訓練は9月14日に五所川原市で開催予定

#### ○市町村が実施する訓練の支援等

- ・風水害を想定した市町村災害対策本部図上訓練を五戸町及び野辺地町で実施予定

# 馬淵川大規模水害に備えた減災対策協議会

## 青森地方気象台 令和2年度主な実施内容及び今後の取組予定

### 【令和2年度の主な実施内容】

地域防災力の強化

市町村との顔の見える関係を継続・強化、防災に関する知識の普及啓発

### 平時

- 市町村訪問等により「顔の見える関係」を構築
- 災害リスクや気象情報利活用に関する研修・訓練へ積極的に協力  
⇒訓練シナリオ作成、ワークショップ、勉強会等
- 地域防災計画や避難勧告マニュアル修正への協力
- 日頃からの予報官コメントやメール等による解説
- 協議会等との日頃からの連携

### 緊急時

- 台風等説明会
- 予報官コメント、ホットライン  
⇒利用者の立場に立った、情報提供
- JETT（気象庁防災対応支援チーム）の派遣  
⇒気象台職員を迅速に派遣

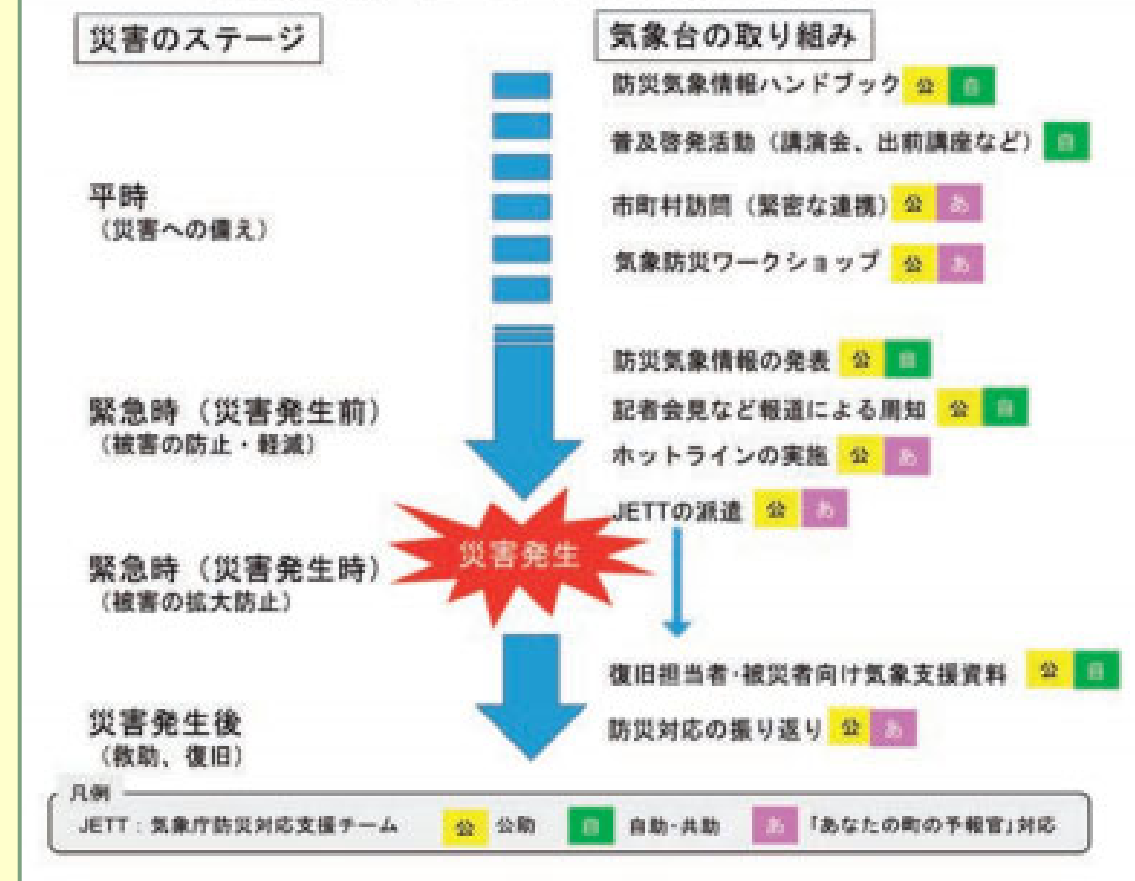
### 【令和3年度の主な取組み予定】

地域防災力を更に強化します。

「あなたの町の予報官」を編成し、市町村との顔の見える関係を強化

平時から、首長訪問や出水期前の市町村訪問により、市町村等との緊密な連携関係を強化するとともに、自主防災組織や地域住民および児童・生徒等を対象とした気象防災ワークショップ等を実施するなど、市町村に寄り添った支援を実施。

### 気象台による地域防災支援

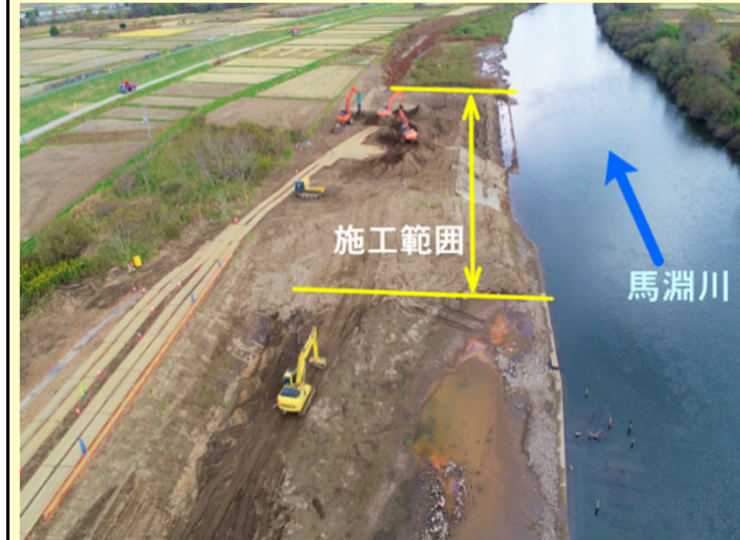




# 馬淵川大規模水害に備えた減災対策協議会 青森河川国道事務所 令和2年度主な実施内容及び今後の取組予定

## 【令和2年度の主な実施内容】

### ● 流下能力対策（河道掘削）整備（一日市地区）



### ● 洪水対応演習（5/15）



### ● 緊急排水計画（案）の作成

馬淵川における大規模氾濫を想定し排水ポンプ車による緊急排水計画の検討を実施



図5-4 排水ポンプ車等の配置検討例（馬淵川L1-2ブロック：浅水川付近）

### ● 防災教育の支援



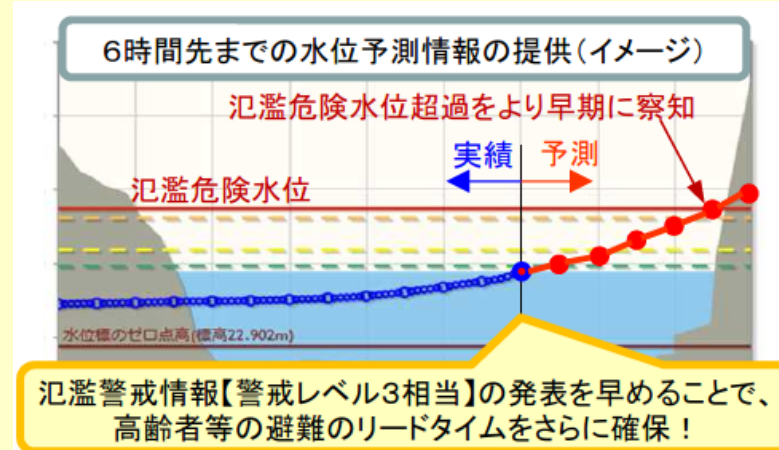
## 【令和3年度の主な取組み予定】

### ● 流下能力対策（河道掘削）整備（一日市地区）



### ● 洪水予報の見直し

洪水予報について水位予測を現行の3時間先から6時間先まで拡大し、川の防災情報などで公表



### ● 洪水対応演習

(5/14・6/4・6/24)



### ● 馬淵川重要水防箇所合同巡視の実施

本格的な出水期を前に水防団や地域住民、防災エキスパート及び行政機関が参加し重要水防箇所の合同巡視を実施

・7/14 八戸(出)管内)

